

ゆもと通信

第6号

発行：長門市 経済観光部 成長戦略推進課

地域の皆さんと一緒に進める観光まちづくりのために、景観や交通に関わる大切な情報をお伝えします。

第6回 景観&交通 住民ワークショップを開催しました！

“長門湯本温泉＝歩ける温泉街”としていくために、

社会実験の結果を踏まえた今後の方向性を決めました！

●日時：平成30年11月18日(日)13～15時30分 ●場所：湯本温泉旅館協同組合 2階 会議室

●議論のポイント

1. 社会実験の結果報告 [湯本まちづくり協議会みらい検討部会 伊藤就一氏]
2. 長門湯本温泉エリア交通計画(案)について [(株)日本海コンサルタント 片岸将広氏]
3. 公共空間の整備について
[長門市経済観光部 田村富昭氏・(有)カネミツヒロシセッケイシツ 金光弘志氏]
4. 良好な景観づくりの取り組みについて
[長門市都市建設課 福田理志氏・(株)アルセッド建築研究所 益尾孝祐氏]

・今回は、参加者の皆様と一緒に社会実験の結果を確認した後、今後の取り組みについてたくさんの意見を頂きました。

※意見交換の内容はP4～5ページにまとめていますので、是非ご覧下さい！



2018年ワークショップ参加のお礼

今回のワークショップをもちまして、今年予定していた全3回が無事終了しました。

お忙しい中でご参加いただいた住民の皆様、本当にありがとうございました。

また開催する際にはご参加くださいますよう今後ともお願いいたします。

1. 社会実験の報告について

社会実験の概要

■目的

- ①公共空間へのデザインへの反映（道路空間構成、交通計画、夜間景観）
- ②公共空間利活用体制・ルール作り
（長門湯本オソト活用協議会による運営、占用物デザイン・配置）
- ③ソフトコンテンツの事業性の検証（飲食、物販、アクティビティ等）

■期間

平成30年9月の約1ヶ月間

おとずれリバーフェスタ2018 9月15日～17日【コア期間】

道路空間の活用 歩ける温泉街を意識したデザインに。歩行者のための空間を拡げました。



河川空間の活用 川床をはじめ、親水性の高いプログラムを実施しました。



平成30年10月23日、音信川・大寧寺川の一部が県内初の準則特区に指定！
11月1日から川床・置き座の常設化がスタートしました！
今後は長門湯本オソト活用協議会が主体的に設置・運営を行っていきます。

夜間景観の向上 コア期間中、道や橋などのライトアップの演出や検証を行いました。



旅館連携 宿泊のお客様等に対しイベントや温泉街のそぞろ歩きのご案内を行いました



出店やサポーター 既存のお店の出店や、ちょいサポ隊によるお手伝い。

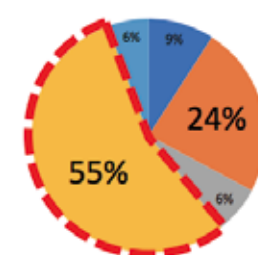


アンケート結果速報（一部）

社会実験の内容に関しては、
また改めて概要版を作成し配布します。

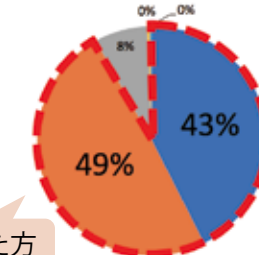
来場者アンケート

Q 来場目的



ぶらぶらしに
来た方が半数以上

Q リバーフェスタの評価



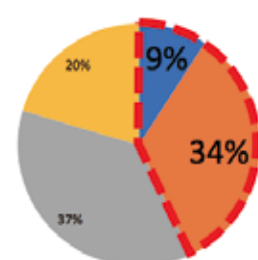
「よい」と答えた方
が90%以上

Q 自由回答（一部）

- ・川沿いの風情が楽しめる、散歩していて緑がきれい
- ・川があり、子ども達が遊び、遊歩道でのんびり過ごせた
- ・たくさん出店されていたから楽しかった
- ・店のクオリティが高い
- ・ゴミがなくてきれい
- ・市民にあまり知られてない

地元アンケート

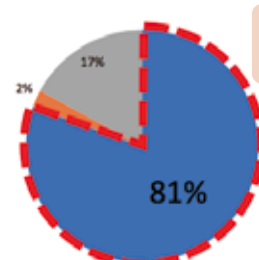
Q 今回の社会実験について



「よい」と答えた
方が約4割

出店者アンケート

Q また参加したいと思う？



約8割の出店者
が「参加したい」

宿泊者アンケート

Q 自由回答（一部）

- ・とても楽しかった、夜景がきれいだった。
- ・夕食後に過ごすのにはよかった。近くの足湯も利用した。
- ・川を近くに感じられました。
- ・お店が混んでいて買えなかった。
- ・近所の商店では人情的な対応があり心温まりました。

今年も地域の皆様のご尽力により無事に実施することができました。

皆様のご理解・ご協力をありがとうございました！

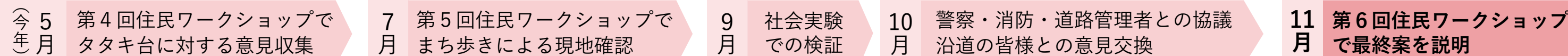
リバーフェスタなどの様子はホームページでも紹介していますのでぜひご覧ください。

◆湯本みらいプロジェクトホームページ <http://www.yumoto-mirai.jp>

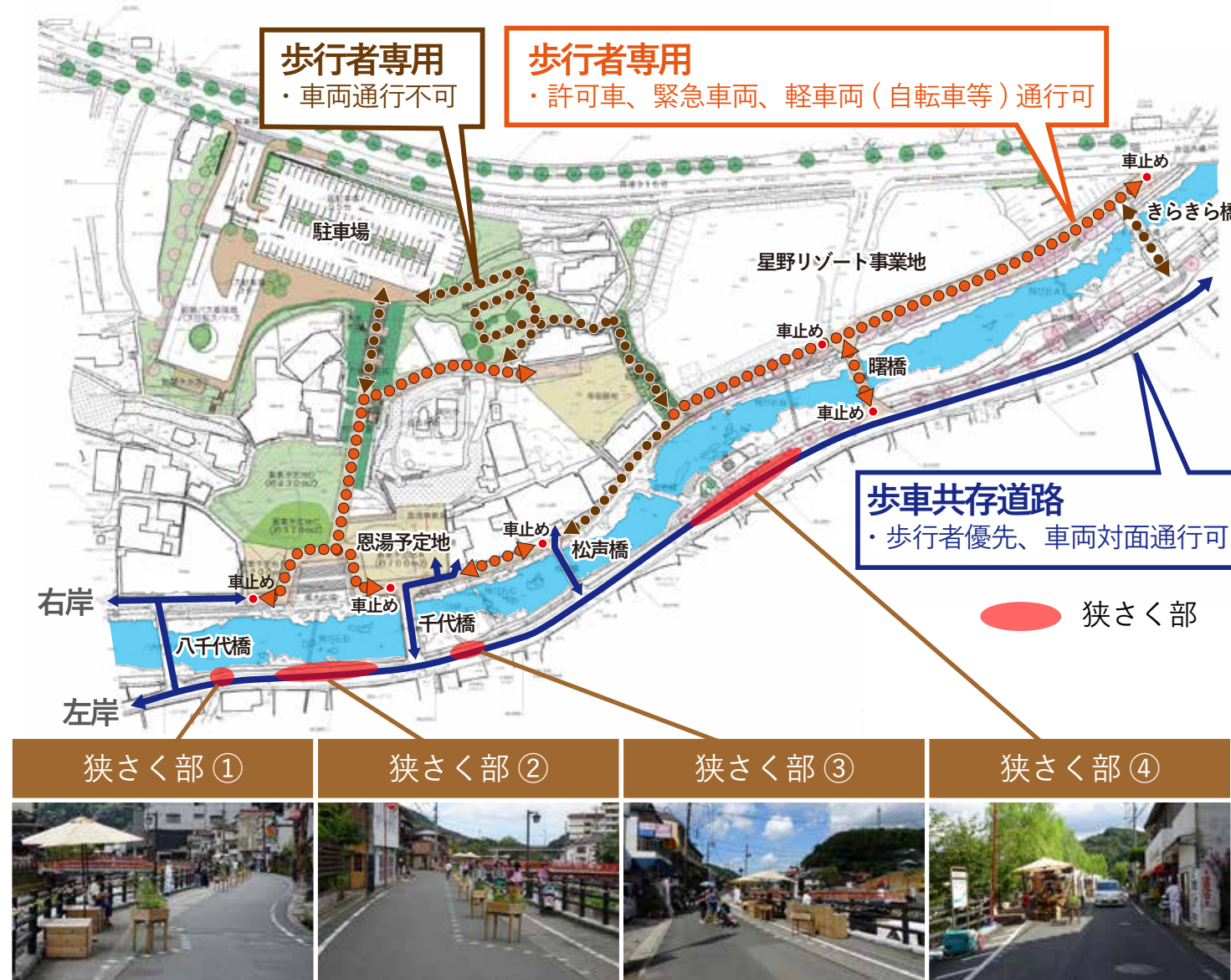
2. エリア交通計画（案）について

エリア交通計画のこれまでの流れ

道路空間再編については昨年度から、地域の皆様とともに、ワークショップや社会実験・アンケート・相談会などを重ねてきました。



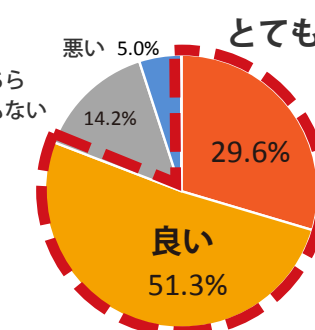
社会実験時の取組



社会実験中の道路空間再編に関する評価（来街者・地域住民）

来街者の道路空間再編の取り組みに対する評価は高い

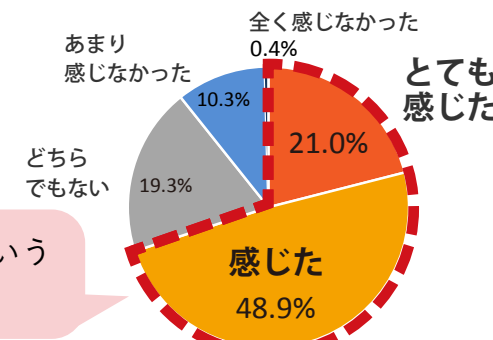
狭窄部によるクルマの速度抑制と
安心して歩ける空間確保の取り組みの評価



良いという
評価が80.9%

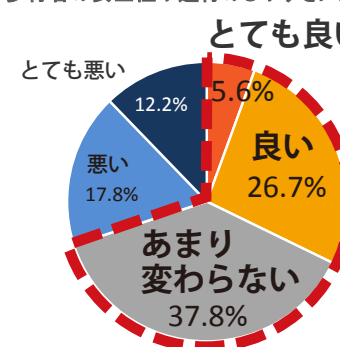
安心して歩けるとい
う評価が69.9%

速度抑制の狭窄部や休憩スペースの設置によって、
安心して歩ける温泉街に感じたか？



地域住民からは「歩行者の安全性や通行のしやすさ」に対する評価が高い
地域住民のドライバーからは「通行しにくい」という評価が多い
⇒ 通過交通の抑制やクルマの速度低減につながると考えられる

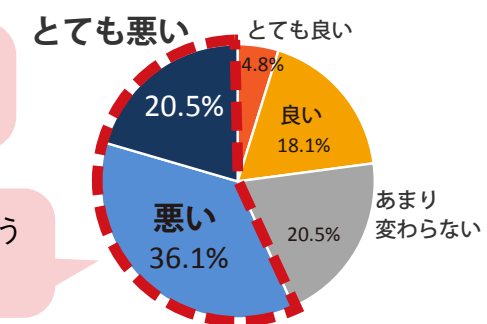
歩行者の安全性や通行のしやすさに対する評価



良い・あまり変わらない
という評価が70.1%

通行しにくいとい
う評価が約56.6%

クルマの安全性や通行のしやすさに対する評価



狭さく部の設置は「歩ける温泉街」の形成に効果あり
(人中心の道路空間づくり＋賑わいを育む利活用空間づくり)

これまでのワークショップ等での主な意見

<前向きな意見>

- ◎狭さく部があると車が注意するので歩きやすい
- ◎路上駐車やスピードの抑制に効果がある
- ◎長門湯本の未来のために協力すべき
- ◎人中心の道になり、人が増えて賑わいが生まれる

<将来の不安など>

- △沿道の生活者の意向を考慮してほしい
- △緊急車両が何台も来たとき大丈夫なのか
- △大型車が何台も来たときどうするのか

※沿道の皆様の意向、緊急車両や大型車の通行可否は
社会実験等で把握・検証し、問題がないことを確認

地域として「歩ける温泉街」の形成に向けて
道路空間の再編を進めることを確認しました

「歩ける温泉街」の形成に向けた取り組み

- 狭さく部を設け、温泉街全体のクルマの交通量や速度を抑制
- 路上駐車のを徹底し、通行が必要なクルマ（地域住民・緊急車両・荷さばき等）が安全・円滑に通行できる道路空間を形成
- ゆずりあいの心で、安全・快適な通行に配慮する意識を醸成

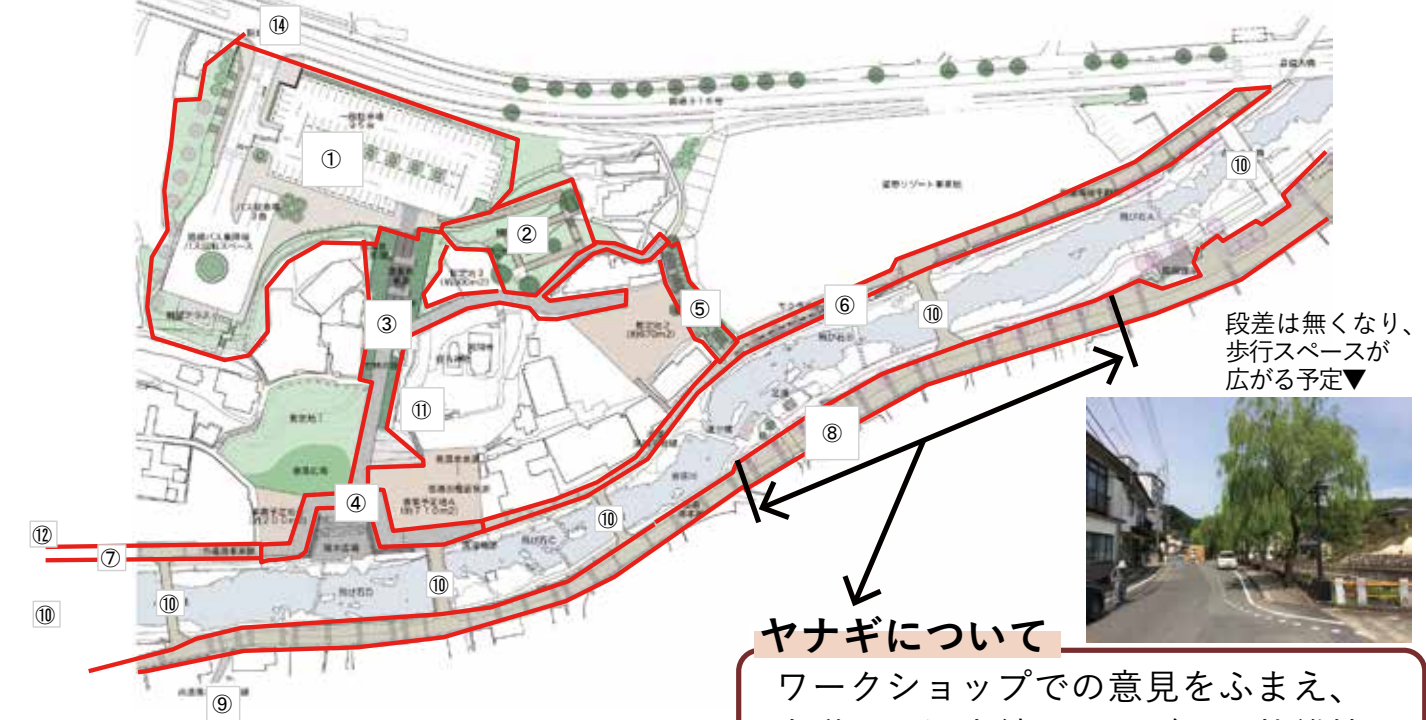
3. 公共空間の整備について

公共工事のスケジュール

そぞろ歩きが楽しめる魅力的な温泉街にしていくために公共工事が進んでいます。ワークショップでは工事スケジュールについて説明を行いました。完成までご不便をおかけしますが、住民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

番号	工事箇所	平成30年度												平成31年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①	駐車場							造成工事					整備・照明												
②	南スロープ																								
③	湯本礼湯線 竹林の階段・遊歩道																								
④	湯本礼湯線 メイン広場																								
⑤	紅葉の階段																								
⑥	湯端平町線																								
⑦	湯本東線																								
⑧	湯本線																								
⑨	湯本大寧寺線																								
⑩	橋梁・河川公園照明																								
⑪	礼湯解体																								
⑫	配湯タンク																								
⑬	国道316号右折レーン																								

※ ⑪礼湯は平成31年3月末まで営業し、営業終了後に解体の予定です。
(工事発注などの準備は平成31年2月から開始します。)



ヤナギについて

ワークショップでの意見をふまえ、市道長門湯本線のヤナギは現状維持することに決まりました。

※ 平成30年12月1日時点の予定であり、今後の工事進捗によって変更することがあります。

公共空間の活用について

これから進めていく工事で温泉街の新しい景色が生まれてきます。これまで地元から「自分たちで何かを植えたい」「こういった整備をしてほしい」というご意見をいただいており、市民参加による空間の活用方法についてご提案いたします。

現状と活用案の紹介

駐車場 工事中

当初方針 出入り口の斜面に芝を張る。

活用案 旧恩湯の瓦を住民参加で斜面に貼り付ける。

紅葉の階段 整備完了

当初方針 斜面の土の部分に洋芝を吹付け済。

活用案 モミジを主役としつつ、まちづくり協議会から芝桜植樹の要望を受けている。

恩湯広場 工事中

当初方針 簡単な洋芝の種子の吹付けを予定。

活用案 芝を住民参加で張る作業を行う。

※斜面になっている暫定地1は作業が難しく、危険なので業者により種子を吹き付けます。

大寧寺参道 設計中

当初方針 道の中央に石貼り。照明を設置。

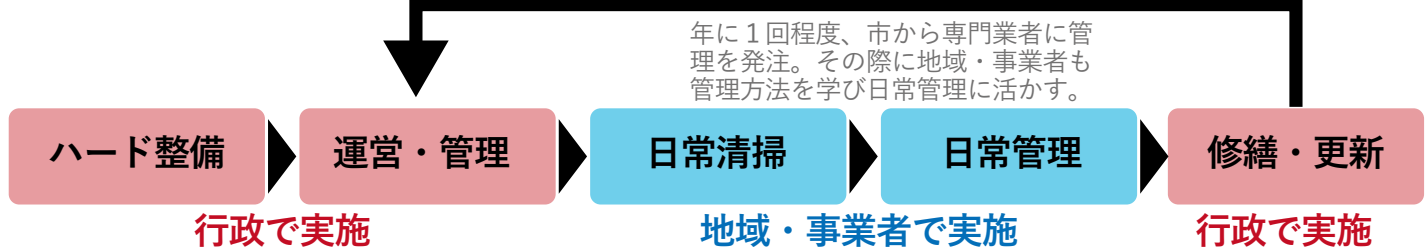
活用案 門前自治会からアジサイなどの植樹の要望を受けている。

今後みなさんと活用方法について決めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

植栽の維持管理について

長門湯本温泉で行う公共整備は、観光地トップ10を目指して観光地としての魅力アップとともに地域をよりよくするためのもの。そのため、魅力ある観光地としての整備を行うことから、行政・住民の整備・維持管理の分担の見直しを検討しています。9月6日に行われた推進会議では、行政はハード整備・大規模な修繕や照明設備更新を担い、事業者や地元で日常的な清掃や簡易な維持管理、利活用を担っていただくという方針となりました。

行政も専門的な維持管理を行いながら進めますので、みんなで一緒に魅力的な空間をつくっていきましょう。



4. 良好な景観づくりに向けた取り組みについて

長門市全体での景観づくりの取り組みも進んでいます

長門湯本温泉では、長門市における先進的な取り組みとして、長門湯本地区景観計画を策定（平成29年3月）しました。また、景観ガイドラインも策定し、景観を守るための取り組みが進んでいますが、現状では問題が発生した時に法に基づく実効性のある対応ができません。

そこで、長門市全体で「景観法」に基づく「長門市景観条例」を制定し、先進的な取り組みが進む長門湯本地区を「重点地区」と位置づける方向で準備を進めています。なお、湯本地区では、届出等の手続きはこれまでと変わりません。（重点地区でない地域は一定の規模以上の工事が届出の対象となります。）

各地区でも説明会等を行い、条例を制定し、法に基づき実効性のある対応が可能となることを目指します。ご質問・ご相談は都市建設課（TEL 23-1152）まで！

湯本エリアでの景観協定の締結にむけて

今後、多くの建替えや改修、新規事業者の増加が想定される音信川・大寧寺川沿いや竹林の階段付近では、地域住民が自らの手で景観を維持・増進するための仕組み「景観協定」の締結を目指しています。

景観協定では、自己敷地外の看板の規制、電球色の灯りによる演出の推進を目指します。また、新規事業者に長門湯本温泉の目指すまちづくりを理解していただけるように、行政への届出前に、民間でも事前協議を行う仕組みづくりを目指します。

景観協定締結に向けた進め方

10月～11月

協定範囲（湯本区・門前区・各旅館）
の土地建物所有者への個別説明

12月

土地建物を所有されている方で、
現在ご不在の方への資料送付

その後

景観協定書の検討や、より多くの
の方々の同意に向けた丁寧な説明

オトズレリノベが進んでいます！



現在、空き家や景観上重要な物件などを対象に、専門家による修景や改修、事業相談など、民間物件のリノベーション相談支援（オトズレリノベ）を進めています。

ワークショップでは、現在、長門湯本温泉で進んでいる様々な民間の新規事業の情報をお伝えしました。今後もオトズレリノベの情報を伝えていきます。

ホームページでもお伝えしています

長門湯本のまちづくりに関わる様々なニュースはインターネットでも公開しています。是非ご覧ください。

湯本みらいプロジェクトHP
<http://www.yumoto-mirai.jp>



皆様からのご意見をお待ちしています！

景観ガイドラインや歩ける温泉街づくりに向けたご意見などを募集しています！是非こちらまでお聞かせください！

長門市経済観光部 成長戦略推進課
TEL 0837-23-1234 FAX 0837-22-6345